

モルタル吹付工 作業手順

	内 容	留 意 事 項	危険性・有害性の洗い出し	重篤度	可能性の度合	リスク評価	優先度	リスク低減措置
準備工	<ul style="list-style-type: none"> 作業打ち合わせ(KY活動) 作業内容、人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検 	<ul style="list-style-type: none"> 安全品質作業指示書による 指示書の内容確認 安全帯の着用 日常点検の実施 						
法面整地清掃工	<ul style="list-style-type: none"> 鉄筋と吹付材の付着に障害となる雑木等の除去を行う。 法面の凹凸を人力にて整正する。 	<ul style="list-style-type: none"> 親綱を張り安全帯を使用して転落防止を行う。 本線上に除去したものが出ないように飛散対策を行う 上下作業の禁止。 	<ul style="list-style-type: none"> 法面から転落しケガをする 	5	1	6	III	<ul style="list-style-type: none"> 安全帯の確実な使用
ラス張工	<ul style="list-style-type: none"> 法面にラス金網を設置しアンカーピンにて地山になじみよく布設する。 アンカーピンの打設はハンマーを用いて行い、岩盤等で容易に打設できない箇所については電動ドリル等を用いて所定の深度まで突孔した後、ハンマーを用いて打設する。 法面の凹凸によりラス金網に浮きが生じる場合は補助アンカーピンを増し打ちを行う 	<ul style="list-style-type: none"> 親綱を張り安全帯を使用して転落防止を行う。 本線上に工具が転落出ないように防止を行う 上下作業の禁止。 	<ul style="list-style-type: none"> 道具が落下し通行車両に当たり傷がつく 	3	2	5	III	<ul style="list-style-type: none"> 小道具入れの箱、袋等を使用する
モルタル吹付工	<ul style="list-style-type: none"> 着手前に法面整形・清掃を行い、木の根等を除去し出来るだけ法面に凹凸がないように仕上げる。 吹付時、ノズルを法面に対してほぼ直角になるように調整し上部から順次下部へ吹付を行い、むらがないように均一に施工する 吹付は、モルタルが垂れさがらない範囲で吹付、所定厚になるまで往復して吹き付ける 休憩後及び翌日の吹付時には、打継面の泥土等吹付材の吹付に害するものは除去し、湿らしてから吹付を開始する 	<ul style="list-style-type: none"> 親綱を張り安全帯を使用して転落防止を行う。 上下作業の禁止。 材料投入や攪拌時、材料が飛散する為、保護メガネや防塵マスクの着用 	<ul style="list-style-type: none"> 粉塵が飛散し目や口に入る 	4	2	6	III	<ul style="list-style-type: none"> 保護メガネ・マスクの着用
越流ブロック設置工	<ul style="list-style-type: none"> 施工箇所の清掃を行う。 ブロックを並べモルタルを詰める。 	<ul style="list-style-type: none"> 本線上に工具が転落出ないように防止を行う。 上下作業の禁止。 	<ul style="list-style-type: none"> ブロック運搬、転倒する 	2	2	4	II	<ul style="list-style-type: none"> 足元を注意して運搬する
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 材料や機材を残置することなく、片付け清掃を行う。 残地するものがある場合は飛散対策を確実に実施する。 連日で作業する際は施工法面の雨などに濡れないように養生を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具等が現場に無いように確認する。 養生シート等が飛散しないように固定を行う。 						

注意事項

- 作業に合った保護具を使用する。
- 法面の高さ2m以上で作業をする時は、有資格者により作業を行う。
- 法面での作業時は安全帯の使用を確実に行う。
- 本線への落下物には、十分注意をする。
- 材料の攪拌場所は、路面が汚れない様にシート等で養生をしてから作業をする。
- 規制内での作業開始前「避難場所を定めて、避難訓練を実施する。